

平成二十四年 第三回 青森市教育委員会臨時会 会議録

一 開会日時 平成二十四年十一月十二日(月)午後二時三十分

二 閉会日時 平成二十四年十一月十二日(月)午後二時四十六分

三 会議開催の場所 教育研修センター 四階 第二研修室

四 出席委員

五 事務局出席職員

佐藤秀樹	小野寺晃
西村惠美子	工藤壽彦
平出道雄	金澤保
石澤千鶴子	浪岡教育事務所長
月永良彦	浪岡教育事務所長事務取扱
	理事
	教育次長
	総務課長
	学務課長
	指導課長
	伴山孝文
	岸田耕司
	山田尚志
	館田一弥
	和田比呂志
	和田比呂志

六 会議に付された案件

議 事

議案第三十八号 通学区域再編について

七 会議録署名委員

西 村 恵美子  
月 永 良彦

八 会議の概要

午後一時三十分に委員長が開会を宣言する。会期を一日とし、会議録署名委員を前項七のとおり指名する。  
議案第三十八号について審議を行い、原案のとおり決定する。  
その後、閉会した。

九 会議の状況

議 事

委 員 長

それでは、議事に入ります。  
議案第三十八号「通学区域再編について」事務局から説明をお願いします。

教育部長から説明

議案第三十八号の通学区域再編についてご説明申し上げます。

本議案は、浅虫小学校における複式学級を解消するとともに、安全な校舎環境を提供することにより、児童の学校教育環境の充実を図るため、平成二十五年四月から浅虫小学校と東陽小学校を統合することについて、ご審議いただきたく提案するものでございます。

浅虫小学校につきましては、複式学級を有する小学校であり、通学区域再編の話し合いを行う最優先の対象校とし

て位置づけられていることに加え、平成二十一年度に実施した耐震診断の結果、校舎につきましては、震度六強の地震が発生した場合に倒壊するおそれがあり、耐震補強を施しても十分な耐震強度を確保することが困難であると診断されたところであります。

このことから、事務局といたしまして、早期の複式学級解消と児童の安全確保に向けて、保護者や地域の皆様と話し合いを行って参りました。

付属資料一をご覧下さい。

平成二十年度以来、九回にわたる話し合いを開催しており、話し合いを重ねる中、平成二十二年度には複式学級の解消といった問題に加え、耐震診断の結果を受けた児童の安全確保といった問題も新たに生じたところでございますが、平成二十三年三月の東日本大震災を経験したことを受け、早期の安全確保を図るべきことから、同年十二月には、保護者の意向として、平成二十五年四月からの統合を目指す意見集約がなされたところであります。なお、この時点では統合先として、東陽小学校、久栗坂小学校、原別小学校が保護者の選択肢として挙げられておりました。

久栗坂小学校との統合につきましては、本年度に入り、住民基本台帳から推計される将来の児童数推計におきまして、浅虫小学校と久栗坂小学校を統合しても、なお依然として平成二十六年には複式学級が発生すると判明したことで、また、原別小学校との統合につきましては、通学距離が長くなることなどの理由から、その結果統合先につきましては「東陽小学校」が望ましいと、本年六月の話し合いにおいて、保護者の意見集約がなされております。

この保護者の意向をもとに、八月十日には未就学児童の保護者への状況報告会を開催し、その後、八月二十日及び九月二十七日には浅虫小学校学区内の全住民を対象とした話し合いを開催したところであり、意見としては、

- ・複式学級は学習上の制限が大きいので、できるだけ早く解消して欲しい。
- ・一刻も早く耐震強度が確保されている小学校に通わせたいという保護者の気持ちは尊重すべき。
- ・今、学校教育を受けることができる世代の子どもたちが、何よりも優先されるべき。
- ・といった賛成意見のほか、
- ・昔からの地域の関係性からすれば、久栗坂小学校や野内小学校と統合するのが良い。
- ・といった反対意見も出されたところでございます。

また、九月二十七日の話し合いに参加した方に、参考として、東陽小学校と平成二十五年四月に統合したいという保護者の考えについて、賛同するかどうかについて挙手による確認をしたところ、参加二十一名中十六名が賛同するといった状況でございました。

なお、話し合いに参加することがかなわなかった地区住民の方々の意見もお伺いするため、それまでの話し合いの経緯や内容を記載した文書を町会を通して全世帯に配布し、十月十日から二十六日の期間において意見を募集したところ、二名の方から意見の提出がございました。

その内容といたしまして、お一方からは、

・参加者が少ない説明会で判断するのではなく、町会で決議された「浅虫町会の総意の表明」をもって判断すべき。との手続き上の意見に加え、

・たとえ廃校と決まっても、統合時期を先送りし、最低一年間の学校行事は地域を挙げて参加、実施すべき。といった統合時期に関するご意見をいただいたほか、もう一方からは、

・学区再編後の児童同士の交流を促進する機会を設けるため、限定的に、一年間だけでも土曜日や長期休業の放課後子ども教室への送迎バスを運行できないか。

という、統合後における放課後の子ども居場所に関するご意見の提出がございました。

事務局といたしましては、早期の複式学級の解消と児童の安全確認を図りたいという保護者の意向や、これまでの話し合いの経緯、いただいた意見を踏まえた上で、浅虫小学校の児童の学校教育環境の向上を図るため、浅虫小学校と東陽小学校の平成二十五年四月統合に向けた取組を進めて参りたいと考えております。

今後におきましては、児童の不安と精神的負担を軽減するため、事前交流に向けた取り組みを速やかに実施し、来週十九日に開催予定の教育委員会において、両校の統合に係る条例改正案を平成二十四年第四回市議会定例会に提案することを審議いただくとともに、両校の保護者や地域の皆様、学校と連携しながら、子どもたちが新しい環境にスムーズになじめるよう、付属資料二にございますとおり、学校教育活動に応じた通学支援や再編後の教育相談体制など、再編に伴う環境変化への支援について話し合いを重ね、ご理解をいただきながら取組を進めて参りたいと考えております。

よろしくご審議くださるようお願いいたします。

委員長

ただ今の事務局の説明につきまして、御意見、御質問等ございませんでしょうか。

西村委員

今の御説明を受けまして、子どもたちの学校環境を整える、そのために複式学級を解消し、子どもたちを安全・安心な環境で勉強ができるということに私は賛成です。ただし、これまで丁寧な手続きを踏んできましたし、これから先も事前交流等も

含めまして、いかに地域から理解を得られて、支援が得られるかということをごからの課題にして参りたいと考えております。

委員長

ほかに御意見ございませんでしょうか。

鎌田委員

私も同様で賛成です。

委員長

その他、御意見等ございませんでしょうか。

石澤委員

統合は賛成です。ただ、説明にありました反対意見の中の「久栗坂小学校や野内小学校と統合するほうが良い」という、この反対意見に対する対処はどのようになっていきますか。

教育部長

先ほどの説明にもありましたように、住民全員の話し合いの場では久栗坂小学校や野内小学校の話は出ておりませんでした。今時点では意見募集もやっております。その中でほぼ浅虫住民の意向の確認が終えたものということで、出された意見をもとに話し合いということで御提案させていただきます。

石澤委員

わかりました。地域の方の今までの支援もあると思うので、地域の方々の理解や丁寧な説明等でこれからもお願いします。

月永委員

浅虫小学校につきましては、長い間話し合いを続けてきたという経緯があります。今から八年程前に、浅虫小学校と久栗坂小学校の複式解消ということで、地元の方々と統廃合の話し合いを何回か行いました。その時はなかなかまとまらず、いろいろな意見が錯綜して一回は物別れしたという経緯があります。最近、保護者の方々が複式学級や少人数学級は津軽弁でいうと、「あづましい」けれども子どもたちにとっては教育上将来のことを考えると、いろいろな人間と触れあう機会や、いろいろな人と教育活動をするというメリットを考えれば、少人数ではないほうが良いのではということと、二つの学年に一人の先生が教えるということは、半分はある程度、自学自習の体制にする等、工夫がされていますが、やはり一年生は一年生として、二年生は二年生として、三年生は三年生として、教育して欲しいという、強い願いが保護者の間からでてきました。もう一つに、昨年の三月十一日の東日本大震災を経て、耐震ということに対しての不安というものが、保護者の方もできるだけ早く安全な所で子ども

たちに学ばせたいという強い意志のもとに、今回の話し合いが行われ、東陽小学校との統合を決断したという経緯でございます。子どもたちは少人数なりに一生懸命がんばっていて、非常に良い学校であります。今後東陽小学校と統合するにあたって、新たに子どもたちが、新しい友達と、教育活動や部活動等に取り組んでいけるという期待が込められているという意味では、教育長として非常にありがたいなと思ひ、子どもたちも良い方向にいくのではと思ひます。教育委員会といたしましては、今後これまで統合してきた学校も含めまして、三月まであまり時間がありませんが、両校のこれからの交流活動をできるだけ行い、お互いのコミュニケーションを取りながら、スムーズに四月には統合できるように環境整備して参りたいと思ひます。また、両校の先生方には、くれぐれもお互いがコミュニケーションをとれるような交流を進めて欲しいということを、校長を通してお願いしているところでございます。今までの東陽小学校は、一度宮田小学校であつた時分に、滝沢小学校と統合した経験がありますので、四月には仲良く教育活動が進められていくのではないかと期待を持ちながら、私たちもいろんな意味で応援して参りたいと思ひます。市民の皆様にも期待していただきたいということ、また、浅虫地区のみなさんにおいても、不安をあまり持たないで、安心して子どもたちを通わせていただければと強い気持ちであります。良い学校を作つて参りたいと考えておりますのでよろしく願ひします。

委員長

ありがとうございます。私も経緯を含めて賛成せざるを得ないと思ひます。二点だけ質問してもよろしいでしょうか。浅虫小学校の開校はいつだったのでしょうか。それから、これまでの卒業生の人数はどれくらいなのでしょう。

教育部長

浅虫小学校の創立については、明治十一年十一月五日になっております。卒業生に関しては今資料がございません。

委員長

後日教えていただければと思ひます。その他御意見がなければ、議案第三十八号については原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

各委員了承

委員長

それでは御異議がないようですので、議案第三十八号については原案どおり決定とさせていただきます。その他次回の議案についてありますでしょうか。

委員長

無いようですので、これを持ちまして平成二十四年第二回青森市教育委員会臨時会を終了させていただきます。

平成二十四年十一月十二日開催の平成二十四年第三回青森市教育委員会臨時会会議録を作成した。

平成二十四年十二月二十七日

書 記 金 子 健

右のとおり相違ないことを認め署名する。

平成二十五年一月二十五日

署名委員 西 村 恵美子

署名委員 月 永 良彦